

岩見沢駅舎建築デザインコンペ 開催要領

平成 1 6 年 1 1 月

北海道旅客鉄道株式会社

www.jr-iwamizawast-compe.jp

岩見沢駅舎建築デザインコンペの説明書

1 コンペの趣旨

「岩見沢駅舎建築デザインコンペ」は、駅舎を単なる駅としての機能だけではなく、まちの顔として「地域文化を担い、地域交流の拠点となる」「交流人口の増加による地域の活性化を図る」ための施設となることを期待し、話題性と先進性を持ちまた質の高い設計アイデアを得ることを目的に設計者を選定するものです。

岩見沢駅は明治15年、手宮（小樽）・幌内（三笠）間の鉄道開通に伴って設置されました。以来、1933年に建て替えられた3代目の駅舎は、2000年12月の火事による焼失まで約70年のあいだ、陸上交通の拠点として、また牛舎を思い起こさせるデザインがまちのシンボルとして長い間市民に親しまれてきました。現在は、プレハブの仮駅舎で営業しており、市民からはまちの新しいランドマークとなる新駅舎の建設が望まれているところです。

岩見沢市は、北海道では数少ない和名の都市です。明治11年に幌内煤田を開採のため、開拓使は札幌〜幌内間の道路の開削に当たり、工事に従事する人たちのため、当市の北部、幾春別川の川辺に休泊所を設け、ここで浴（ゆあみ）して疲れをいやしたといわれています。当時の人々にとって、この地は唯一の憩いの場所として、「浴澤」（ゆあみさわ）と称するようになり、これが転化して「岩見澤」（いわみざわ）と呼ばれるようになったといわれています。

現在は、市民が主役の開かれた市政を基本に、市民が誇りと愛着を持てるまちを自らの手で築いていくことができる「市民本位のまちづくり」、自らの責任と判断で行政の施策やサービスを決定し、実行していくことができる「自主自立のまちづくり」を進めています。さらに新しい岩見沢市基本構想の都市像である「生き生きとした緑の中の安全・健康・文化都市」をめざし、「人にやさしい温かい街づくり」を推進し、市民福祉の向上と地域振興を図るための施策を積極的に展開しています。

本コンペは、設計者の業務に対する取り組み姿勢（課題に対する提案）や駅舎デザインの考え方を問うだけでなく、岩見沢の地域性を十分に理解した上でそれを活かし、岩見沢駅が変わらない価値をもつ駅舎となることを目指しています。

2 コンペの概要

1 コンペの名称

「岩見沢駅舎建築デザインコンペ」(以下「本コンペ」と略します。)

2 コンペの方式

本コンペは、技術提案による日本国内に限定した一般公開競技とし、北海道旅客鉄道株式会社が主催し、岩見沢市が後援します。主催者は「岩見沢駅舎建築デザインコンペ 審査委員会」(以下「審査委員会」と略します。)を招集して2段階の審査方式によって最優秀賞入賞者を選定します。

3 コンペの位置づけ

- 1) 本コンペの審査において、最優秀賞に選定された方とは、その後の設計業務委託の交渉を行います。
- 2) 設計の具体的な進め方については、主催者と選定された方との間で協議の上、進めて行く予定です。

4 応募資格要件等

- 1) 日本国内に在住する方で、グループ、企業であることは問いません。応募者または代表者が一級建築士の資格を有するものとし、建築士法(昭和25年5月24日法律第202号)第23条の規定に基づく一級建築士事務所の登録を行っていることとします。
- 2) 以下の方々は応募資格がありません
 - ・ 審査員
 - ・ 審査員が主宰または役員あるいは顧問として関係する企業に所属する方、または審査員が関係する研究室に所属する方。
- 3) グループ、企業にかかわらず、同一個人の重複参加は認められません。
- 4) 地方自治法施行令(昭和22年政令第16号)第167条の4の規定に該当しないものであること。
- 5) 行政庁・自治体から指名の停止を受けていないこと。また、指名の停止を受けたが、既にその停止の期間を経過していること。

5 主催・後援および事務局

主 催：北海道旅客鉄道株式会社

後 援：岩見沢市

事務局：岩見沢駅舎建築デザインコンペ開催事務局

事務局は北海道旅客鉄道株式会社総合企画本部地域計画部内におくが、問い合わせ、登録申し込み先、作品提出などは下記の連絡先とする。

連絡先：

(株)キタバ・ランドスケープ・プランニング内

岩見沢駅舎建築デザインコンペ開催事務局

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目5 緑苑木下ビル 201号

TEL：011-271-8005 FAX：011-271-8010

E-mail：info@jr-iwamizawast-compe.jp

URL：www.jr-iwamizawast-compe.jp

6 募集内容

本コンペの開催趣旨と下記に示す課題を十分に理解したうえで、駅舎新築に関する以下の項目について提案を求めます。

- 1、岩見沢のまちの顔となる駅、変わらない価値を持つ駅舎への提案
- 2、地域文化を担い、地域交流の拠点となる駅舎への提案
- 3、建設費や維持管理費の低減のための提案
- 4、駅舎と周辺施設、特に駅前広場との調和を考慮した提案
- 5、中心市街地と駅との積極的な関係の提案

募集項目

1) 提案説明書

上記課題に対する提案者の考え方をまとめてください。

2) 提案図面

- ・ 駅舎新築の考え方を伝えるものを作成してください。
- ・ 自由通路のデザインイメージを作成してください。
- ・ 駐車場などの周辺施設の配置がわかるものを作成してください。

3) 経歴書

※詳細は「7 提出作品」「3 提案図面作成にあたっての主な条件」を参照のこと。

7 提出作品

「6 募集内容」について、下記の内容および様式により提出して下さい。応募作品の言語は日本語、単位はメートル法とします。

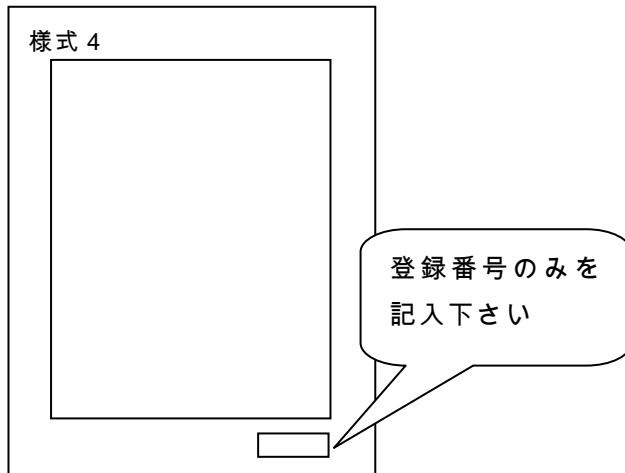
なお、応募作品の制作にあたっては、以下の事項に留意して下さい。

- ・ 様式は、示した様式（枠線を含む。）を使用して下さい。様式自体への彩色及び背景印字（模様含む。）等は自由です。
- ・ 提案説明書は、文章での表現を原則とし、基本的考え方を簡潔に記述して下さい。なお、イメージ図及び視覚的表現以外に使用する文字の最小サイズは10.5ポイントとします。

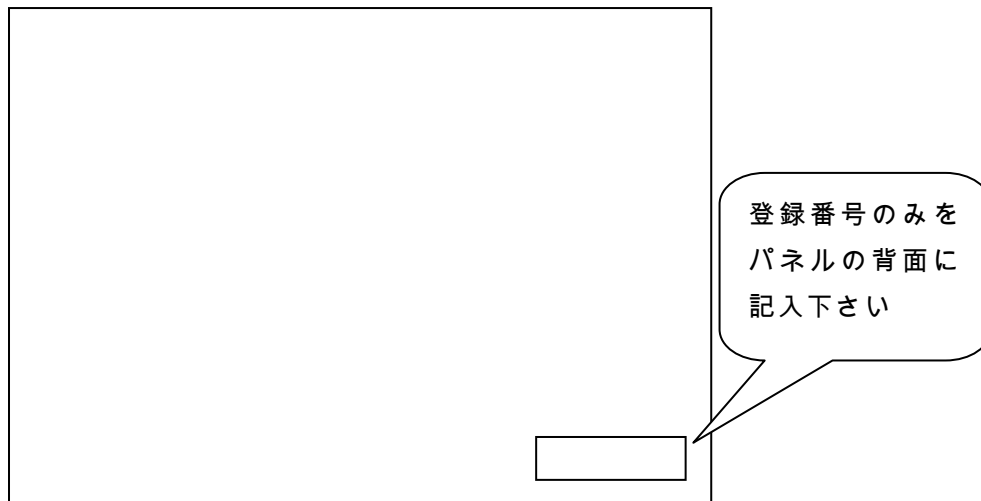
項 目	部数 (サイズ及び仕様)	内 容
1) 提案説明書	様式 4 部 数 : 1 部 サイズ : A4-2 枚以内 (210mm×297mm)	<ol style="list-style-type: none"> 1、岩見沢のまちづくりの顔となる駅、変わらない価値を持つ駅舎への提案 2、地域文化を担い、地域交流の拠点となる駅舎への提案 3、建設費や維持管理費の低減のための提案 4、駅と周辺施設、特に駅前広場との調和を考慮した提案 5、中心市街地と駅舎との積極的な関係の提案 <p>上記の5つの項目について、基本的な考え方を述べて下さい。説明書は文章を主としますが、考え方を伝えるための図やイラストの挿入は適宜判断の上、挿入下さい。 ※開催要領の様式4をウェブサイト上からダウンロードしてお使い下さい。</p>
2) 提案図面	パネル化 部 数 : 1 枚 サイズ : A2 (420mm×594mm)	<p>提案説明書を補完するものとして、また具体的なイメージを伝える表現をして下さい。着色等、表現は自由としますが、以下の項目は必須とします。また、模型写真やパース、スケッチなど、必要と考えるものは適宜判断の上、挿入して下さい。</p> <p>計画案作成の際には、工事費や工程も考慮して下さい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、各階平面図 (S=1:500) ※一階平面図は配置図も兼ねる。 1、断面図 (スケールは適宜) 1、立面図 (スケールは適宜)
3) 経歴書	様式 1 部 数 : 1 部 サイズ : A4 (210mm×297mm)	<p>※開催要領の様式1をウェブサイト上からダウンロードしてお使い下さい。</p>

※提案説明書、提案図面には提案者が特定できる記述（事務所名、記号等）を入れてはいけません。下記の要領で登録番号のみを提出書類に明示してください。

- ・ 提案説明書（A4、210mm×297mm）
様式の所定の場所に登録番号を記入下さい。



- ・ 提案図面（A2、420mm×594mm）
パネル画面背面の右下に2cm×5cmの登録番号を記入する欄を設けてください。右側、下側に1cmずつの余白をとって、登録番号のみを記入下さい。
パネル化は、枠を用いず、発泡ポリエチレン等の軽量な材質で厚さ8mm以内のものに貼り付けて下さい。



8 審査

1) 審査方法

- ・ 審査委員会は提出された応募作品をもとに審査を行い、2段階審査とします。
- ・ 応募作品は岩見沢市内の公共施設において、3日間住民が自由に縦覧できるように公開します。その後、一次審査において応募作品の審査を行い、10名程度の一次審査通過者を選定します。一次審査通過者の発表はウェブサイト上で平成17年2月上旬に行う予定です。
- ・ 一次審査は匿名で行いますので、応募作品に提案者の氏名などが特定できる記述はしないでください。
- ・ 二次審査は、提案内容についての公開ヒアリングを実施して審査します。ヒアリングの日時等、詳細については郵送でお知らせ致します。
- ・ 二次審査に向けては、資料の追加提出を求める場合があります。
- ・ 審査委員会では、本コンペの趣旨を理解し、最も優れた提案と評価する作品を最優秀作品として選定します。
- ・ 主催者は、審査委員会の審査結果に基づき、最優秀作品を決定します。

2) 審査委員会

建築家、学識者、市民代表、行政関係者など、多様な視点で適切に審査するために、様々な分野の専門家により審査委員会を構成します。

委員長：内藤 廣（建築家・東京大学教授）

委員：古谷 誠章（建築家・早稲田大学教授）
千葉 学（建築家・東京大学助教授）
大垣 直明（建築家・北海道工業大学教授）
中井 和子（環境デザイナー）
勝井 清（岩見沢駅舎建築・連続立体交差実現促進期成会監事）
清兼 盛司（岩見沢市助役）
臼井 幸彦（北海道旅客鉄道株式会社常務取締役）

9 賞金等

1) 賞金

最優秀賞1点：200万円

優秀賞 3点： 30万円

2) 賞金にかかる税金は入賞者が負担することとします。

10 登録方法

- 1) 応募される方はウェブサイト上の登録書式にしたがって、登録してください。
- 2) 登録料は不要です。
- 3) 登録の〆切は平成16年12月20日17時までとします。
- 4) 登録手続きが完了しだい、登録番号とパスワードをメールにて送付します。パスワードは、質疑応答などの情報等、登録した方がみることのできるページに入るときに必要になります。
- 5) 登録内容の変更はできません。
登録申込先：「5 主催・後援および事務局」の連絡先に同じです。

1 1 提出方法

- 1) 応募作品の送り先は「5 主催・後援および事務局」の連絡先に同じです。
- 2) 一次審査の提出期限は平成17年1月31日午後5時事務局必着とします。それ以後は受付致しません。
- 3) 提出の際は「7 提出作品」にあげる提案説明書、提案図面、経歴書に登録番号の記入を忘れずに行ってください。
- 4) 応募作品は、郵送または輸送代行業によるものに限りません。直接搬入は認めません。
- 5) 応募作品を受理した後、天災などの不可抗力による事故によって応募作品を破損した場合には責任を負いません。また、事故などにより応募作品の損傷が著しく、審査に耐えない場合には、応募作品の再提出を求めることがあります。
- 6) 応募作品提出後の修正、加筆は認めません。また応募作品の返却はしません。
- 7) 応募作品の作成、応募に関わる費用負担は応募者の負担とします。

1 2 応募作品の無効

- 1) 応募作品について、本要領及び別添の所定様式に示された条件に適合しない場合は、無効とする場合があります。
- 2) 応募作品の記載内容に虚偽がある場合。
- 3) 提出期限以内に提出されなかったもの。
- 4) 作品は未発表のものに限りません。
- 5) 応募作品の中に著作権、意匠権等、他人の知的所有権を侵害していることが明確になった場合。
- 6) その他、本開催要領の内容に沿わないもの

1 3 質問の受付

- 1) 質問を行うには応募登録をすませ、パスワードの発行を受けて下さい。
- 2) 質問はウェブサイト上で受付し、平成16年12月20日午後5時で締め切ります。それ以後は受付しません。
- 3) 回答は随時ウェブサイト上に掲載していきます。平成16年12月25日までに回答を終える予定です。
- 4) 質問への回答は、主催者が必要と認めたものについてのみ行います。

1 4 著作権、応募作品の取り扱いについて

- 1) 著作権はそれぞれの設計事務所に帰属しますが、主催者は必要な公表（インターネットまたはマスコミ等）には応募作品等を使用、または第三者に使用を許可できるものとします。また、審査を行うために必要な範囲において、複製を作成することがあります。
- 2) 応募者が応募作品の中において、他人の著作物を使用している場合、その使用にあたり当該権利者に対して発生する事項（使用料等）の責任については、全て応募者が負うものとします。（応募者は応募作品の中において他人の著作物に関する使用がある場合はあらかじめその旨を主催者に文書でお知らせ下さい。）
- 3) 主催者は、設計者選定後、選定された設計者の提案に拘束を受けないものとします。

15 スケジュール

登録受付期間 : 平成16年11月22日～平成16年12月20日17時まで

質疑応答 : 質問の受付

平成16年11月22日～平成16年12月20日17時まで

回答はウェブサイト上に随時掲載し、平成16年12月25日までに必要な回答を終える予定です。

提出期限 : 平成17年1月31日17時まで

作品の一般公開 : 平成17年2月上旬の3日間(場所や時間など詳細は未定)

審査結果の発表 : 一次審査

平成17年2月上旬(ウェブサイト上で通知)

: 二次審査

平成17年3月上旬(郵送にて結果を通知)

3 提案説明書、提案図面作成にあたっての主な条件

1 提案対象と主な条件

この駅舎は、北海道旅客鉄道株式会社の岩見沢駅としての施設と、岩見沢市が必要とする複合施設とを併せもった駅舎です。現在、岩見沢駅は仮駅舎で営業していますが、駅舎建設の際には駅機能が停止することなく、建設できる配置や工程を考慮してください。提案の対象と基本的な機能、および条件は次の通りです。

提案対象と基本的な機能、所要室および必要面積

項目	機能	規模	
1) 駅舎 駅舎 1 F (駅施設) (複合施設) 駅舎 2 F (駅施設) (複合施設) 一番ホーム上屋	店舗 駅後方室 会議室 休憩室・更衣室 社員トイレ (男女各 1 室) 倉庫 事務室 機械・電気室	約 130 m ² 約 25 m ² 約 70 m ² 適宜 約 30 m ² 約 30 m ² 約 20 m ²	
	店舗 給湯・自販機・喫煙室 会議室 (2 室) 観光案内・物産展示販売 機械・電気室 管理事務室 サービスヤード トイレ (男・女・多目的) センターホール ATM・コインロッカー	約 180 m ² 約 40 m ² 約 60 m ² 約 30 m ² 適宜 約 25 m ² 約 70 m ² 適宜 約 165 m ² 適宜	
	旅客施設 待合室 駅トイレ (男・女・多目的)	約 55 m ² 男:大 2 小 3、女:大 3、多目的ブース 約 30 m ²	
	駅事務室 駅事務室・みどりの窓口・旅行センター (客だまりを含む) 駅キヨスク	約 250 m ² 約 50 m ²	
	市役所サービスセンター (待合コーナー 証紙販売を含む) 会議室・相談室 パスポート窓口 トイレ (男・女・多目的) その他 (1、2 階通路等含む)	約 200 m ² 約 45 m ² 約 25 m ² 適宜 約 1,170 m ² 合計 2,700 m ²	
		W=約 5 m、L=約 90 m	
	2) 自由通路 昇降棟	通路 北側駐輪場 東側駐輪場	W=6.0m、L=約 100m 300 台 650 台
	3) 周辺施設	管理用駐車スペース	5 台

主な条件

駅舎について

- ・ 改札口は2階に設け、既存のJR跨線橋と連結させてください。
(跨線橋とホームの高さ関係については資料10を参照)
- ・ 建設用地については、資料2に示す設計対象範囲内とし、駅前広場への上空占用は認められません。
- ・ 区分所有建物として、駅施設と複合施設が明確な建築としてください。設備関係も駅施設、複合施設とを分離して考えてください。
- ・ 駅舎の正面出入口は、駅前広場や既存シエルター(資料7)との関係を考慮してください。
- ・ 駅舎のFLは駅前広場やプラットホームの高さを考慮し設定してください。
(資料2、資料10を参照)
- ・ 改札口は、 $W=6.4\text{m}$ を確保してください。
- ・ 駅舎と自由通路の間に、駅舎1階の店舗への商品搬入や駅業務の荷物搬入のためのサービスヤードを設けてください。
- ・ 一番ホームには、既存の跨線橋に接続する、雨避けとなるホーム上屋を設けてください。
(他のホームには既存の施設がありますので必要ありません)
- ・ 施工順序は、第1期工事として平成17年度末から仮駅舎の東側に駅施設と自由通路・昇降棟を建設します。その後、駅施設の供用開始と同時に仮駅舎の取り壊しを行います。第2期工事として平成19年度から駅施設の一部と複合施設を建設します。平成20年度には全面供用開始の予定です。

自由通路について

- ・ 南北自由通路($W=約6\text{m}$ 、 $L=約100\text{m}$)、昇降棟を建設し、駅舎の2階と連結させてください。駅舎との関連性を考慮しながら提案を行ってください。
- ・ 自由通路、昇降棟については線路上空に架かる特殊な施設のため、設計の基本的な条件を整理した図(資料9)を示します。駅舎のデザインとの連続性や関連性を考慮したデザインのイメージについて提案してください。
- ・ 昇降部分には、エレベーター、スロープを計画しています。
- ・ 駅舎に隣接する昇降棟には駐輪スペース(北側300台、東側650台)を計画しています

周辺施設について

- ・ 高齢者、障がい者用のタクシー乗降場を配置してください。
(西側駐車場より進入)
- ・ 複合施設のサービスヤードへの搬入路は西側駐車場からとしてください。
- ・ 駅用駐車スペースとして乗用車5台分は確保してください。

2 利用者数

JR 岩見沢駅の一日の平均乗降客数：約 9,300 人。

3 諸元

延べ床面積：約 2,700 m²程度

構造は問いません

用途地域：商業地域（準防火地区）、建ぺい率 80%、容積率 400%

4 工事予算および工程

岩見沢駅舎の工事予算を約 10 億円（一番ホーム上屋を含む）とします。

建設の際は、現在の駅機能を損なわないように配置等を考えてください。

工事予算には仮駅舎の取り壊し費用、設計料を含みます。

5 提供資料

資料 1 現況平面図

資料 2 敷地図

資料 3 航空写真

資料 4 現況写真

資料 5 駅舎市民アンケート

資料 6 駅北地区道路整備計画（短期計画、中期計画）

資料 7 既存シェルター図面（配置図、屋根伏図、矩計図、立面図）

資料 8 駅前広場ロードヒーティング敷設図

資料 9 自由通路参考図（1階・2階平面図）

資料 10 跨線橋レベル資料

その他

気象データ：<http://www.pref.hokkaido.jp/skikaku/sk-tstcs/fc/weather/we08.htm>

新しい岩見沢市総合計画：<http://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp/city/seisaku.htm#総合計画>

6 その他

1) 応募者は、岩見沢市の概要や「新しい岩見沢市総合計画」などを十分に理解した上で本コンペに臨んでください。

2) 岩見沢の気象条件（豪雪地域）を十分に考慮してください。

3) 除雪の体制や駅前広場のロードヒーティングのエリア（資料 8）を参考にしてください。

様式 1

経歴書 (グループ、企業の場合は代表者)

応募者氏名 (代表者)	生年月日 年 月 日 (才)
所属・役職	
保有資格等 ・ 一級建築士 ・ () ・ ()	実務経験年数 () 年 (登録番号:) (取得年月日: 年 月 日) (登録番号:) (取得年月日: 年 月 日) (登録番号:) (取得年月日: 年 月 日)
建築実績 (発注者、受注形態、工事金額、完成写真等)	
受賞歴・著作他	

※建築実績が多数の場合は様式 2 をお使い下さい。

登録番号 :

様式 2

建築実績（発注者、受注形態、工事金額、完成写真等）

登録番号：

様式 3

グループ又は企業で応募する場合は協同設計者の経歴もお書き下さい。

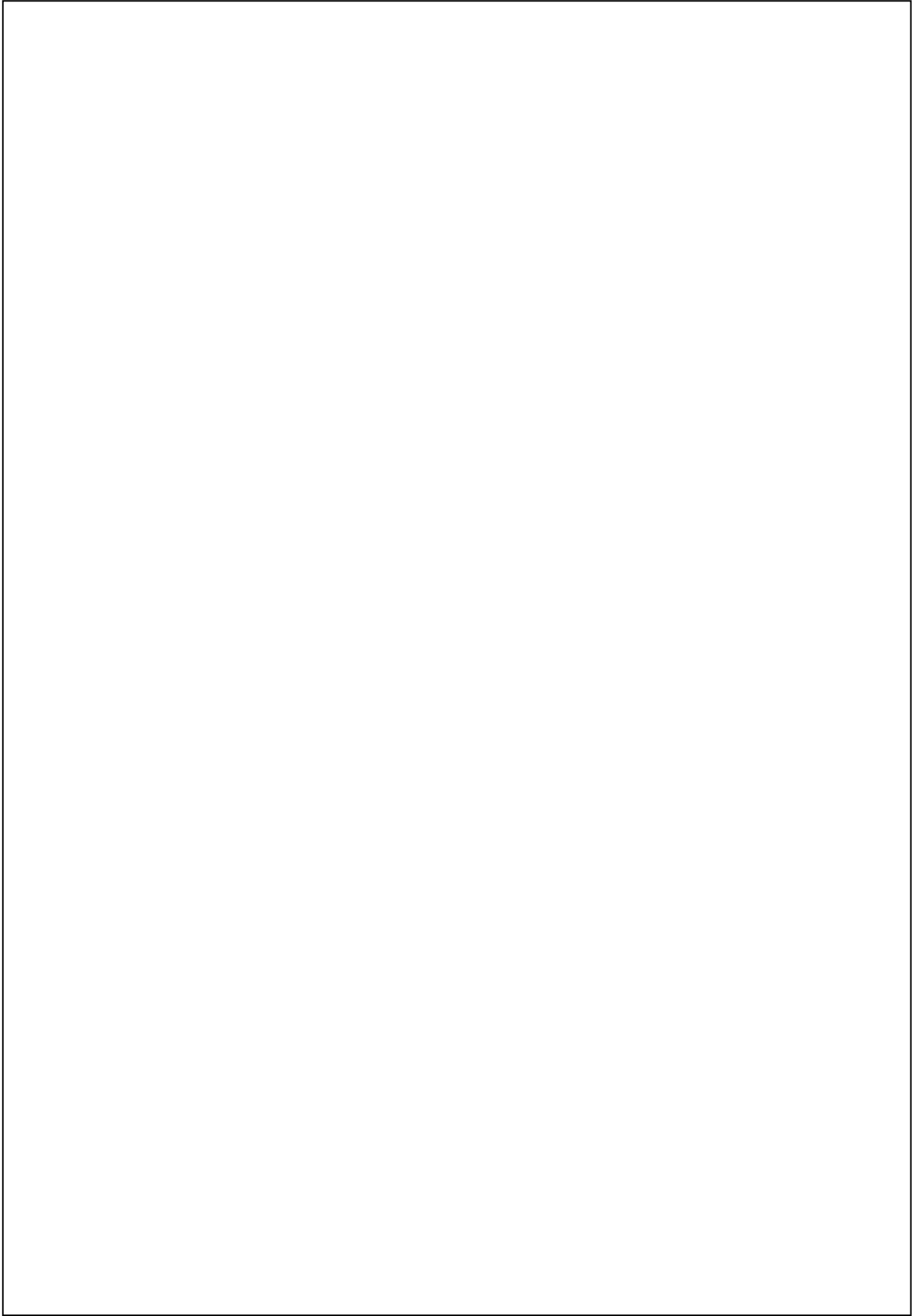
協同設計者	生年月日	年	月	日	(才)
所属・役職					
保有資格等 ・一級建築士 ・()	実務経験年数 () 年 (登録番号:) (登録番号:)	(取得年月日:)	年	月	日)
協力を受ける内容					
建築実績					
受賞歴・著作他					
協同設計者	生年月日	年	月	日	(才)
所属・役職					
保有資格等 ・一級建築士 ・()	実務経験年数 () 年 (登録番号:) (登録番号:)	(取得年月日:)	年	月	日)
協力を受ける内容					
建築実績					
受賞歴・著作他					

協同設計者が多数の場合は様式 3 をコピーしてお使い下さい。

登録番号 :

様式 4

提案説明書用紙



登録番号 :

主催
北海道旅客鉄道株式会社
後援
岩見沢市

事務局・連絡先

www.jr-iwamizawast-compe.jp

事務局

北海道旅客鉄道株式会社
総合企画本部 地域計画部

担当 安田、刑部

〒060-8644 札幌市中央区北 11 条西 15 丁目 1 番 1 号

TEL 011-700-5722 FAX 011-700-5962

連絡先

(株)キタバ・ランドスケープ・プランニング内
岩見沢駅舎建築デザインコンペ開催事務局

〒060-0004 札幌市中央区北4条西7丁目5 緑苑木下ビル 201号

TEL : 011-271-8005 FAX : 011-271-8010

E-mail : info@jr-iwamizawast-compe.jp